

資料①

令和2年度事業報告及び附属明細書

(令和2年1月1日から令和2年12月31日まで)

公益財団法人 原田積善会

令和2年度事業報告及び附属明細書

(令和2年1月1日から令和2年12月31日まで)

1. 事業概況

当財団は令和2年7月6日に創設100周年を迎えました。これを記念して11月に当会の活動と歴史をまとめた「原田積善会100年史」を刊行致しました。また、記念助成として2件総額40百万円（助成先は松阪市と東京消防庁）を決定、内1件（松阪市）を支出しました。

一方、この記念すべき年は新型コロナウイルス感染症に世界中が席卷された厳しいものとなり、経済面で個人消費や企業業績に深刻な悪影響を与えました。その一方で、金融市場では一時的には米国で株価が過去最大の下落幅を記録するなど混乱を来したものの、各国で中銀による超金融緩和策や大規模な財政下支えが打ち出されると急回復し、年末には米国ダウが史上最高値を更新する実態経済と乖離した動きとなりました。米大統領選を巡る混乱も何とか回避され、新政権による大規模な経済対策を期待して市場は楽観に傾いています。

我が国でも感染状況を受け一時緊急事態宣言が発出されるなどコロナを受けて経済は落ち込み、年間の実質GDPは5%程度の落ち込みを見込んでいます。それでも、政府の打ち出した補助金政策による消費の持ち直しや、海外情勢の好転に伴い外需を挺に企業業績も相当程度回復してきており、急回復した株価はその後高値を更新しました。しかし、

年末にかけては再び深刻なコロナ感染の第3波に見舞われており、先行きの不透明感は未だぬぐえない状態にあります。

社会福祉の分野では、コロナがもたらした災禍が弱者に集中して、社会の格差をますます拡げることになっていることも見逃せません。

このような状況の中、当会は新型コロナの感染防止の観点から3月より時短およびテレワークを実施しています。このためのクラウドによるビデオ会議や書類の共有を図り、職員全員への自宅およびPC・通信機器を配備などハード面の環境の構築、さらにテレワーク就業規則を制定するなど一連の体制整備を行いました。

上記の経済金融環境の下、当財団の金融資産の運用益は超低金利による債券の利回り低下、為替の円高傾向による外貨建て資産の減収に加え、企業業績悪化による株式配当の減少など厳しい状況でありました。賃貸住宅の事業収益が底支えとして機能したものの、経常収益は、前年度比6%減少して92,622千円となりました。

一方、助成金・寄付金は記念助成の松阪市向け10百万円を支出しましたが、東京消防庁向けの30百万円については救急車両の納車の遅れから支出を次年度に持ち越しました。さらに、新型コロナによる当会の財務面への悪影響を予測して通常の助成を抑えたことから、全体で前年度とほぼ同額の19,327千円と抑制気味の運営となりました。経費

については100年史の費用約6百万円があったものの、助成・寄附金を除く経常費用を前年比約312万円増加の59,345千円に抑えることができました。

以上の結果、経常収支は前年度比937万円と大幅に減少したものの利益を計上し13,950千円となりました。

期初予算との関係では、上述の東京消防庁向け記念助成30百万円が来期支出となったことなどを受けて、経常収支は予算を約49百万円上回る結果となりました。

金融資産の評価損益等は、年末の株価は昨年末を上回る高値となりましたが、為替が円高に推移したこともあり外貨建債券の評価損が発生し124,596千円の損失となりました。以上のような経常収支及び金融資産の評価損益等を反映した、期末の正味財産残高合計は、2,477,065千円で、前年度比110,863千円の減少となりました。

令和2年度の収益、財産状況は以上のようなものとなりましたが、今後については、新型コロナウイルスの感染状況やワクチン接種の進展が経済金融市場に与える影響を注視しつつ、米新政権の対中国政策などコロナ以外の内外のリスク要因にも留意して、引き続き注意深く慎重な金融資産の運用に努めて参ります。

なお、当会は休眠預金事業として「希望を未来へーこどもホスピスプロジェクト」を提案し、休眠預金の受け皿である日本民間公益活動連携機構（JANPIA）の2020年度事業に採択されました。今後、当会の通常助成とは別建ての助成事業として、2024年3月までの事業期間、難病のこどもと家族のためのこどもホスピスの全国展開という社会課題の解決に取り組んでまいります。

2. 事業別内訳

(1) 公益事業

今年度は、期初予算にて収益環境を厳しくみたことから助成、寄付活動を抑制気味に運営しました。助成・寄付の対象分野については、引続き若者支援に重点を置き、自立支援ならびに児童ホスピス等の福祉活動への支援に注力しました。

助成金・寄付金の交付額は、社会事業分野に24件、5,026千円、学芸技術教育分野に4件、1,300千円、寄付3件、3,000千円の合計9,326千円でした。これに加えて、100周年記念助成の松阪市向け子ども支援センターにおける情報機器導入に係る寄附10,000千円を行った結果、助成金・寄付金合計では、32件、19,326千円で、前年度より673千円増加しました。助成金等の明細は、後記Ⅱの通りです。

(2) 収益事業

本会では、助成財源創出のために賃貸マンションを保有しております。今年度はほぼ満室が続き入替による一時的空室も少なく賃貸収入は前年比1,654千円増加の18,807千円となりました。

(3) その他

本会が松阪市に寄贈した原田二郎旧宅は、市から運営委託を受けた松阪歴史文化舎による積極的な運営のもと松阪市の文化遺産として根付いてきており、本会も引続き記念展示品の提供などを通じて支援しております。原田二郎の生誕地である松阪の文化活動には、今後も地道な支援を行って参ります

以上

II. 助成金・寄付金交付明細

単位：円

助成先	所在地	助成の目的・対象事業	助成金額
[社会事業分野]			
(福) 全国社会福祉協議会	東京都	全国社会福祉協議会会長表彰事業	300,000
(福) 東京都社会福祉協議会	東京都	第69回東京都社会福祉大会開催事業(協賛)	300,000
(福) 東京都共同募金会	東京都	共同募金事業(直納寄付金)	500,000
(公財) 助成財団センター	東京都	情報整備特別会費事業	100,000
(福) いのちの電話	東京都	相談員養成・研修事業	300,000
(福) 朝日新聞厚生文化事業団	東京都	(1) 児童養護施設・里親家族等の進学応援金事業 (2) 自立援助ホームまなび応援金事業	1,500,000
(国法) 国立成育医療研究センターもみじの家	東京都	もみじの家運営事業	500,000
(一財) 日本パストール財団	東京都	「感染と免疫」に関するセミナー開催事業	450,000
NPO法人横浜子どもホスピスプロジェクト	神奈川県	広告協賛金	30,000
NPO法人三重難病連	三重県	PCのバージョンアップ費用事業	170,000
風伝(尺八グループ)	三重県	第18回三重県文化奨励賞受賞記念演奏会費用事業	100,000
松阪三珍花保存会	三重県	栽培法解説冊子発行費事業	70,000
本居宣長記念館((公財)鈴屋遺蹟保存会)	三重県	宣長画図の復刻出版費用事業	134,750
松阪偉人顕彰団体協議会	三重県	第6回松阪の偉人たち展開催事業	100,000
松阪市立第一小学校	三重県	松阪市における令和2年度桜木植樹事業	471,790
松阪市立阿坂小学校	三重県		
松阪市立松江小学校	三重県		
大石町環境保全会	三重県		
小原ゆめの会	三重県		
松尾神社	三重県		
掃水連合老人クラブ	三重県		
本居神社	三重県		
辻原町有志・阪内町有志	三重県		
市立鎌田幼稚園	三重県		
社会事業分野		小計24件	5,026,540

II. 助成金・寄付金交付明細

単位：円

助成先	所在地	助成の目的・対象事業	助成金額
〔学芸技術教育分野〕			
日本学士院	東京都	学術研究奨励金（令和2年度分）	500,000
日本学士院	東京都	若手学術研究者に対する奨励金（記念品代）	300,000
（一財）尾崎行雄記念財団	東京都	青年の国際的リーダーシップ育成事業	300,000
（一社）日本児童養護実践学会	東京都	研究大会におけるテキスト購入事業	200,000
学芸技術教育分野 合計 4 件			1,300,000
助成金合計 28 件			6,326,540
寄付金			
〔災害救援〕			
（福）朝日新聞厚生文化事業団	東京都	7月豪雨災害救援金	1,000,000
（公財）毎日新聞東京社会事業団	東京都	コロナ対策医療支援金の寄付事業	1,000,000
〔寄 付〕			
松阪市	三重県	原田二郎旧宅維持管理に要する経費	1,000,000
松阪市	三重県	100周年記念特別助成 子ども支援研究センターにおける 情報機器導入への寄附	10,000,000
寄 付 金 合計 4 件			13,000,000
令和2年度交付 総合計 32 件			19,326,540

○本会創設以来の助成・寄付実績（大正9年から令和2年まで100年間の総計）

助成件数 9,303件

助成金額686,232,597.71銭

（戦前分を中心に時価換算すると約323億円になります）

Ⅲ. 庶務概要

1. 評議員会開催状況

次の通り3月は評議員会の開催を省略し、12月はリモート開催とした。3月は書面決議にて、12月はオンラインにて、決議事項及び報告事項はそれぞれ原案通り承認可決された。

イ. 令和2年3月25日（書面決議）

決議事項

- (1) 令和元年度事業報告及び附属明細書（案）承認の件
- (2) 令和元年度計算書類（案）承認の件

報告事項

- (1) 100周年記念助成の件
- (2) 職務執行状況の報告
- (3) 有価証券売買状況

ロ. 令和2年12月17日（リモート開催）

報告事項

- (1) 令和2年度補正事業計画書について
- (2) 令和2年度補正収支予算書について
- (3) 令和3年度事業計画書について
- (4) 令和3年度収支予算書について
- (5) 令和3年度資金調達及び設備投資の見込み報告について
- (6) 助成及び寄附の選考結果について
- (7) 有価証券売買状況について
- (8) 休眠預金資金への応募の件及び資金提供契約締結の件
- (9) 休眠預金事業における一般社団法人希望を未来につなぐプロジェクト（希望）とのコンソーシアム協定締結の件
- (10) 規程整備の件
- (11) 内閣府へ公益事業内容の変更届出の件
- (12) 100周年記念事業実施状況について

2. 理事会開催状況

次の通り3月は理事会の開催を省略し、12月はリモート開催とした。3月は書面決議にて、10月、12月はオンラインにて決議事項及び報告事項は、それぞれ原案通り承認可決された。

イ. 令和2年3月9日（書面決議）

決議事項

- (1) 令和元年度100周年事業準備資金への繰入額の件
- (2) 令和元年度事業報告及び附属明細書（案）承認の件
- (3) 令和元年度計算書類（案）承認の件

(4) 100周年記念助成の件

(5) 定時評議員会開催の件

報告事項

(1) 職務執行状況等の報告

(2) 有価証券保有状況及び同売買状況

ロ. 令和2年10月8日（リモート開催）

決議事項

(1) 休眠預金に関する日本民間公益活動支援機構（JANPIA）への応募の件及び資金提供契約締結の件

(2) 休眠預金に関する事業において一般社団法人希望を未来につなぐプロジェクト（希望）とのコンソーシアム協定締結の件

(3) 規程整備の件

(4) 内閣府への公益事業内容の変更届出の件

報告事項

(1) 職務執行状況等の報告

(2) 公益財団法人東京しごと財団「コロナ対応緊急テレワーク助成金」受給

ハ. 令和2年11月24日（リモート開催）

決議事項

(1) 令和2年度補正事業計画書（案）承認の件

(2) 令和2年補正収支予算書（案）承認の件

(3) 令和3年度事業計画書（案）承認の件

(4) 令和3年度収支予算書（案）承認の件

(5) 令和3年度資金調達及び設備投資の見込み報告（案）承認の件

(6) 評議員会の開催について

報告事項

(1) 職務執行状況等の報告

(2) 助成及び寄附の選考結果について

(3) 有価証券売買状況について

(4) 100周年記念事業実施状況について

3. 役員等一覧（令和2年12月31日現在）

理事長	稲垣裕志
常務理事	戸田章子
業務執行理事	世古潤壹良
理事	尾崎行正、清野征逸
監事	大武 健一郎
評議員会会長	杉崎重光
評議員	椎橋 敏、筒井寛昭、東郷重興 戸田千秋、永田俊一、樋爪 龍太郎 本澤 実、湯本雅士
相談役	篠塚 豊

以上